

隣保館だより

編集 下樓隣保館 〒689-4526 日野町下樓157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



心まで温まるような壁掛けづくり

ふわふわの壁掛け
10月14日、老人憩の家で、地域の皆さんが、南部町の「ノームの糸車」の皆さんと

羊毛フェルトの作品づくりを通して交流しました。この交流は、今回が2度目となります。前回は立体的な作品でしたが、今回は平面に色とりどりの羊毛を組み合わせた壁掛けを作りました。専用の針で簡単にくっつけて出来上がっていくので、初めての人も楽しく作ることができました。『ノームの糸車』は、障がい者の就労支援をする福祉サービス事業所です。

手作り料理でお祝い
10月11日、下樓の老人憩の家で「敬老の集い」が開かれました。これは、下樓女性部が長年にわたって社会に貢献された高齢者に対し敬意と感謝を表し、長寿をお祝いしようと、毎年行っているものです。今年も、地区内の高齢者（75歳以上）46人のうち28人が参加して、手作りの料理とカラオケ大会などで楽しいひとときを過ごしました。また、来年も皆さんの元気



長寿を喜び合う

12月の学習講座予定

■クレイフラワー（第4回目） 12月2日（水）午後1時～

会場：下樓集会所（講師：妹尾仁津美さん）※樹脂粘土を使った、本物そっくりの花などを作る人気の講座です。

■編み物 12月12日（土）午後1時～

会場：老人憩の家（講師：安達利子さん）

■生け花（草月流） 12月15日（火）午後7時30分～

会場：下樓集会所（講師：生田清子さん）※花代が必要。※子ども用の花も用意できます。現在小学生も受講しています。

▼日程など変更になることがあります。詳しくは下樓隣保館へ▼どの講座も2時間の予定です。町民どなたでも参加できますので、お気軽に参加ください

町 解放文化祭のお知らせ

「暮らしの中に人権の輪を広げよう！」をテーマに、第32回日野町解放文化祭を12月5日・6日の2日間、下樓隣保館、集会所、老人憩の家で開きます。

隣保館事業や、各人権団体による展示、人権ビデオの放映、日野中学校吹奏楽部の演奏会など、イベントが盛りだくさんです。どうぞご来場ください。

（演芸会の出演者も募集しています）

☆展示は、5日・6日の2日間、隣保館と集会所で行います。

詳しくは、ポスター・チラシをご覧ください。

人権のまちひの

2009年11月

人権尊重社会の 仕組みづくりを考える

■人権・同和教育研究集会を開催

『人権尊重のまちづくりをしよう』をテーマに、第34回人権・同和教育研究集会を、10月27日、町文化センターで町民ほか221人が参加して開きました。

人権啓発講演会

今回は、講師に中川喜代子さん（奈良教育大学名誉教授）を招き、「人権尊重のまちづくりへの課題」と題した講演を行いました。

中川さんは、「差別は相手に対する乏しく偏った情報、こじつけ、異質なもののへの非寛容性、偏見、歪められた自己実現への欲求などがある。このような行為は人間として許されない卑劣な行為であるという社会意識を醸成していく積極的な取り組みが必要」と訴えました。



中川喜代子さん

さらに、高齢化や家族形態の変化などの問題を取り上げ、「地域のすべての人が互いに認め合い、受け入れ、共に生き、差別・不公平がなく、社会から排除されず、安心して心豊かに生きがいを持って暮らせる社会を目指すことが人権尊重のまちづくりの課題」と話しました。

特別報告

中川さんの「隣人の助け合い」と近所の底力で、みんなで動けば何かが始まる。まず一人一人ができることから一歩を踏み出そう」との言葉は、まさに私たちの地域課題として深く考えさせられました。

シンポジウムに先立ち、6月に滝山公園男子トイレで発

研究集会の成果を座談会へつなげよう

全自治会で小地域座談会を

町民の皆さんのご理解とご尽力により、小地域座談会を毎年開いていただいています。改めて敬意と感謝を申し上げます。

本年度の小地域座談会は、おおむね11月下旬以降、3月末までに開いていただき、まずよう自治会長の皆さんにお願いします。

基調提案

生じた差別落書きについて、山本教育長が、「これまでの人権教育の反省と、併せて今後の人権尊重のまちづくりに生かすための討議をしていただきたい」と、特別報告を行いました。

続いて、山根美奈子実行委員長が、シンポジウムを進めるに当たり、「研究集会の原点をみつめて」と題して基調提案を行いました。

山根委員長は、差別落書き現象を踏まえ、「さまざまな地域課題から、人権尊重社会

の仕組みを考えよう」として、「差別現象がなぜ繰り返されるのか、これまでの取り組みで見落としていたのは何か、改めて問いなしていただきたい」と思います。併せて、さまざまな地域の人権課題を解決するための人権尊重社会の仕組みづくりについて、『同和問題・高齢者の人権・女性の人権』を基に、具体的な議論の高まりを期待します。また、今回の研究テーマを小地域座談会でも話し合っていたきたい」と提案しました。

シンポジウムの内容は次回以降で紹介します。

ない地域の一人として社会から大切にされ、安心・安全に、そして明日への希望を抱きながら生きる喜びを感じて暮らせる、そのような人権尊重のまち（地域）づくりを目指して、さまざまな人権課題や地域の問題を話し合う人権学習・啓発の小地域座談会にしたいと思えます。

ぜひ、全自治会で開かれ、まずよう、自治会長をはじめ、地域の皆さんのご協力をお願いいたします。